

2024 年度

学 生 募 集 要 項

〔私費外国人留学生選抜(学部学生)〕

- ・ 人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース
国際社会コース
社会科学コース
- ・ 理工学部 数学物理学科
情報科学科
生物科学科
化学生命理工学科
地球環境防災学科
- ・ 農林海洋科学部 農林資源科学科 フィールド科学コース
農芸化学コース
海洋資源科学科 海洋生物生産学コース
海底資源環境学コース
海洋生命科学コース
- ・ 医学部 医学科

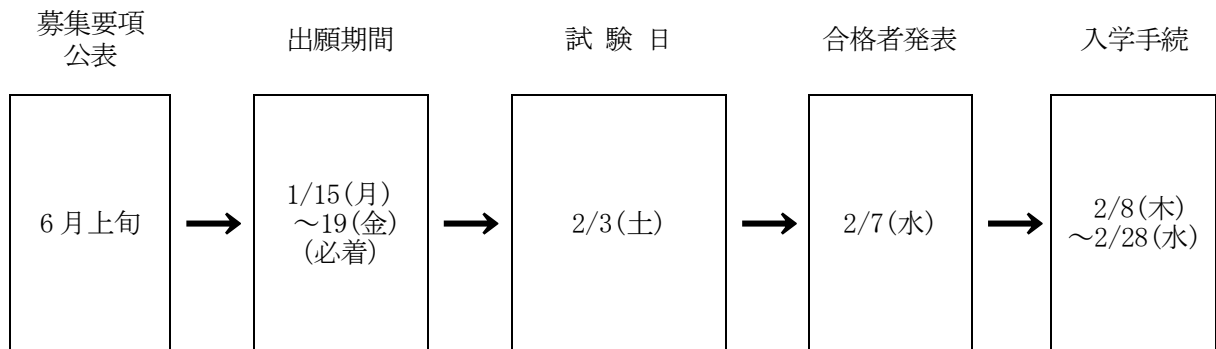


高知大学
Kochi University

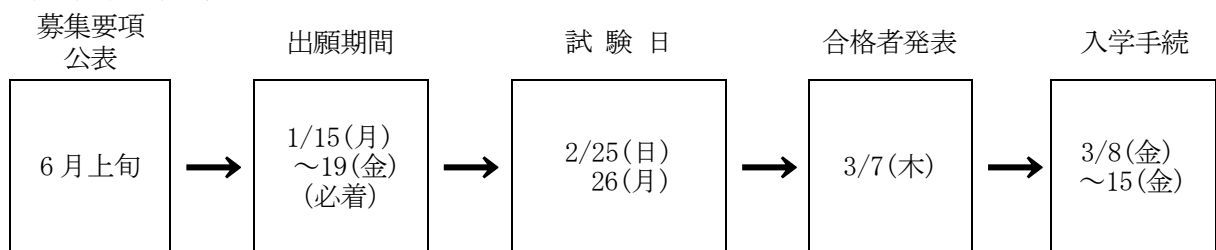
目 次

◎「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」及び「入学者選抜方法と評価する能力」 ..	1
1 実施する学部及び募集人員.....	7
2 出願資格及び要件	7
3 出願期間	7
4 入学検定料	8
5 出願手続	8
6 受験票の送付	10
7 障害等のある者の出願	10
8 選抜方法	12
9 配点	15
10 試験実施期日及び試験場	16
11 受験上の注意事項	17
(1) 試験場への集合等	
(2) 携行品	
(3) 受験票	
(4) 遅刻者	
(5) その他	
12 合格者発表と選抜結果の通知	18
13 入学手続	18
14 不合格者の国公立大学への出願	20
15 個人情報の取扱い	20

(人文社会科学部、理工学部、農林海洋科学部)



(医学部医学科)



◎「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」

高知大学のアドミッション・ポリシーは、学部・学科(コース)ごとに、「養成する人物像」、「求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準」及び「入学者選抜方法と評価する能力」を示しています。

なお、「入学者選抜方法と評価する能力」では、選抜ごとの「選抜方法と評価する能力の対応表」を示します。表にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示しています(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)。なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

また、「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

なお、養成する人物像で記載されている「〇〇学」の具体的な内容については、各学部のホームページ等を参照してください。

人文社会科学部

■人文社会科学科

人文科学コース

【養成する人物像】

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・地理学・文学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について批判的な精神をもって理解し、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で諸科目を幅広く履修し、基礎的な素養を身につけている。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、的確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、主体的に考えることができる。

関心・意欲

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について関心を持ち、取り組む意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		○	○		
本学が実施する個別試験等	日本語	○	○		
	面接	○	◎	○	

国際社会コース

【養成する人物像】

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができる人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 多面的価値を学び、理解するのに必要な基礎的な素養、すなわち高等学校卒業程度の教科学習(「外国語」を中心とした教科)に関する知識があり理解している。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 言語・文化・社会の多様性を理解しつつ、多様な人々と協働する能力を身につけている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。

関心・意欲

1. 世界における多様な言語・文化・社会の問題に強い関心を持っている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験	◎	○		

社会科学コース

【養成する人物像】

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝えるように表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

関心・意欲

1. 経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことが

らについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	面接	○	◎	○	

理工学部

■数学物理学科

【養成する人物像】

数学物理学科は、「数学や物理学の専門的知識の修得を通じて理学の発展・活用に寄与し、またグローバル化する社会の中で自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることで社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。特に、専門的知識を習得するために必要な事項として、数学あるいは理科についての内容を十分に理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事をとらえることができる。
2. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 問題に対し、自ら考えて解法を導くことができる。
2. 課題解決に向け、多様な人々と協力する意志を持っている。

関心・意欲

1. 数や図形、自然の現象等に関連する数学的な事柄に関心があり、理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。あるいは、自然の現象や法則に関心があり、実験等を通じて理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。
2. 基礎物理学として数学又は物理学を学ぶ意欲がある。
3. 数学又は物理学を核として学びつつ、他の分野にも知見を広める意欲がある。
4. 科学と社会のあり方、科学と倫理のあり方について関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	○	◎		
	面接	○	◎	○	◎

■情報科学科

【養成する人物像】

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」「ソフトウェア科学」「数情報科学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識があり理解している。
2. 情報科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する事項の知識と理解及び技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に学習に取り組む習慣が身についている。
2. さまざまな考え方を持つ人とコミュニケーションを取り、良好な協働ができる。

関心・意欲

1. コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
2. 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
3. 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		○	○		
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	○	◎		
	面接	○	◎		○

■生物科学科

【養成する人物像】

生物科学科は、「地球生態系から分子レベルの現象を扱う生物科学(分類学、生態学、古生物学、比較生化学、細胞生物学、生理学、分子進化学の諸分野)についての専門的な知識と野外調査・室内実験の技術を修得し、生物及び生物圏の在り方をさまざまな視点から理解し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理学を修得するために必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 生物科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。
4. 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。

主体性・多様性・協働性

1. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。
2. 実験や演習等に積極的に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。
2. 自然法則や科学者・科学技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を学ぶことに興味・関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		○			
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	◎	○		
	面接		○	○	◎

■化学生命理工学科

【養成する人物像】

化学生命理工学科では、化学反応の仕組み、物質の性質や機能、細胞でおこる生命現象の仕組みを分子や原子レベルで理解するための基礎的な知識と技術を身につけます。それらを土台として、化学と生命科学分野の基礎科学研究及び環境、エネルギー、材料科学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等に関連する応用研究に取り組むことで、社会で生じるさまざまな問題の解決へとつながる革新的な発見や発展に貢献できる研究者・技術者を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。
2. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要となる理科・数学・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識・技能を身につけ、理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら問題点を見出し、原因の探求、解決に向けた課題設定ができる。
2. 自然現象や身近な現象を科学的に考えることができる。
3. 物事を筋道立てて考えたり、明確な基準や理由をもって判断したりすることが得意である。
4. 自分が理解している事柄を他者にわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自己の向上及び自身に関わるさまざまな活動の活性化のために、自ら学び、行動できる。
2. 持続可能な社会を実現するためのさまざまな課題に目を向け、化学や生命科学の領域から主体的に課題に取り組むことができる。
3. 多様な人々と協働して、学んだり、さまざまな課題に取り組んだりすることができる。

関心・意欲

1. 科学が好きで、特に化学反応や生命現象に強い関心がある。
2. 化学や生命科学の分野で、新たな法則や原理を発見したり、新たな技術、材料等を開発したりする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	○	◎		
	面接		○	○	○

■地球環境防災学科

【養成する人物像】

地球環境防災学科では、地球を作っている物質の特性、自然現象や災害が起こる仕組み、災害から命や暮らしを守る方法について教育・研究を行い、自然共生型社会の構築・発展に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
3. 実験や実習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学者・技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶことができる。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	○	◎		
	面接		○	○	○

医学部

■医学科

【養成する人物像】

医学科は、「良識のある社会人として行動する力」、「コミュニケーション力」、「医学に関する幅広い知識と技能」、「地域の医療へ貢献する力」及び「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探究することができる。
2. 科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる。
3. 自分の考えを口頭あるいは図や文章を用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる。

関心・意欲

1. 生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている。
2. 高知県内の地域医療に従事する強い意欲がある。（一般選抜〔地域枠〕、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ）
3. 社会的な善悪に対して正しく判断し、自分の発言や行動に責任を持つことができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		○			
本学が実施する個別試験等	数学、理科、外国語	◎	○		
	面接		◎	○	○

農林海洋科学部

■農林資源科学科

フィールド科学コース

【養成する人物像】

フィールド科学コースは、「農林業や環境保全を対象としたフィールド科学に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
3. 正しい日本語、英語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. さまざまな人と意見交換ができる。
2. 主体的に学ぶことができる。
3. チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

1. 常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
2. 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
3. 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	面接	○	○	○	◎

農芸化学コース

【養成する人物像】

農芸化学コースは、「化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 農芸化学分野、DXに関連する専門的知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。
3. 物事を客観的にとらえることができる。
4. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動することができる。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えている。

関心・意欲

1. 生命現象を遺伝子やタンパク質、生理的な機能を持つ化合物など、目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
2. 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
3. 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
4. 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学的視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
5. データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社

- 会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
6. 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	◎		
本学が実施する個別試験等	面接	○	○	◎	◎

■海洋資源科学科

【養成する人物像】

海洋資源科学科では、海洋生物生産、海底資源環境または海洋生命科学に関する専門的知識に加え、海洋資源管理をめぐる俯瞰力、問題分析能力、ならびに問題解決能力を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関する諸問題や疑問となることを理解し、解決策を探索するうえで必要となる論理的思考力、読解力を有する。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎を身につけている。

主体性・多様性・協働性

- 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行いたいと考えている。
- 本学の教育研究環境を最大限活用して、自ら主体的に学び、成長しようという意志を持ち、多様な人々と協働しながら学ぶことで知を深めていこうとする能動的な姿勢を持っている。

関心・意欲

- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

海洋生物生産学コース

【養成する人物像】

海洋生物生産学コースは、「海洋生物資源の育成・管理・利用に関する知識・技術を身につけ、「持続可能な海洋生物生産」に関わる課題を科学的な観点・思考から理解・解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校卒業程度の教科学習に関して知識が理解している。

思考力・判断力・表現力

- 科学的・論理的な思考で物事を分析しながら、解決すべき問題や方策を考えることができる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を論理的に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

- 主体的に学ぶことができる。
- 異分野を含む多様な人々と協働できる。

関心・意欲

- 「海洋生物資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、海洋生物資源の育成・管理・利用に関わることに取り組もうとする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	面接	○	○	○	

海底資源環境学コース

【養成する人物像】

海底資源環境学コースは、地学、化学、物理学の分野から、「海底資源」の探査と環境保全も視野に入れた開発に貢献することができ、周囲の環境からその形成メカニズムを理解することができる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 海底資源環境に関する専門的知識を修得するために必要となる高等学校の教科、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

- さまざまな問題について、科学的思考から総合的に判断し、行動、解決する基礎が身についている。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

- 理科に関して主体的に学ぶことができる。
- 異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

- 「海底資源」及び「海洋資源を管理すること」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究や開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	面接	○	○	○	

海洋生命科学コース

【養成する人物像】

海洋生命科学コースは、「海洋で起こる生命現象や海洋生物由来の有用物質等について、生物学並びに化学的視点から幅広く探求でき、その成果を国際社会及び地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 海洋フィールドでみられる、生命現象や海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理に関連する専門的知識を修

得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋フィールドでみられる生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理について、化学あるいは生物学の視点から観察し考察するための基礎的な思考力と判断力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現するための基礎が身についている。
3. 物事を客観的に捉えるための基礎が身についている。
4. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断するための基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 海洋フィールドでみられる生命現象や海洋生物由来の有用物質に関する知識及び最新成果について、主体的かつ真摯に学ぶための基礎が身についている。
2. 理科に関して主体性を持って学ぶことができる。
3. 異分野を含むさまざまな人々と、海洋生命科学に関連した意見交換を行い協働するための基礎が身についている。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えるための基礎が身についている。
5. チームの一員として主体的・積極的に活動するための基礎が身についている。

関心・意欲

1. 生物をはじめとする海洋資源、海洋フィールドでみられる生命現象、並びに海洋生物由来の有用物質について関心を持ち、生物学ならびに化学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法		評価する能力			
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
日本留学試験		◎	○		
本学が実施する個別試験等	面接	○	○	○	○

1 実施する学部及び募集人員

学 部	募 集 人 員
人文社会科学部	人文社会科学科 各コース 若干名
理 工 学 部	各学科(選抜方法区分ごと) 若干名
医 学 部	医学科 若干名
農林海洋科学部	農林資源科学科 各コース 若干名
	海洋資源科学科 各コース 若干名

(注) 試験を実施する学科等については、8 選抜方法 (P12～P14) で確認してください。

(注) 入学後の教育は、原則として他選抜により入学した者と同様に行います。

2 出願資格及び要件

次の(1)から(3)すべてに該当する者とします。

- (1) 日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていない者
(外国人であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者又は同等以上の資格を取得した者、及び 2024 年 3 月 31 日までに卒業(取得)見込みの者は、この選抜には出願できません。)
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者で、以下の①から⑥のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)を有する者
 - ⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC^{*1}、ACSI^{*2}、CIS^{*3})から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者
 - *1 WASC … ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
 - *2 ACSI … アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
 - *3 CIS … カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ
- (3) 2023 年度日本留学試験において、各学部学科等が指定する教科・科目を受験した者
【人文科学コース、国際社会コースのみ】
上記の資格及び要件を満たし、2022 年 4 月以降にTOEFL試験又はIELTSTM試験を受験した者

3 出願期間

2024 年 1 月 15 日 (月) から 1 月 19 日 (金) 17 時まで (必着)

※ 郵送のみ (持参では受け付けません。)

(注) 郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するように特定記録・速達郵便で発送してくだ

さい。上記の締切に出願書類の到着が間に合わないことが見込まれる場合、締切までに受験票送付用封筒以外の書類を FAX（088-844-8147）で事前送信し、受付を行うことができるものとします。FAX を送信した後は必ず入試課に電話（088-844-8153）にて、届いているか確認してください。受付最終日の 17 時に郵送の書類または FAX のいずれも到着していない場合、出願は受理できません。また、出願書類は、締切翌日の 17 時までに到着するように発送してください。到着しない場合、受験できない場合がありますが、検定料は返還できません。

なお、期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

4 入学検定料

17,000 円

郵便局・ゆうちょ銀行で指定の用紙を使用し、以下の口座に 17,000 円を払い込んでください。払込手数料はご負担願います。

受取人口座名義：高知大学

指定金融機関：ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号 01610-5-129391

※振替払込請求書兼受領証の原本は本人控えとして保管ください。

払込用紙のご依頼人及び出願者の住所氏名欄は、出願者本人の住所氏名を記入してください。また、通信欄に選抜名称(私費外国人留学生選抜)及び出願する学部・学科・コース等、出願者名を記載してください。

受付局日附印の押印された「振替払込請求書兼受領証」のコピーを本学受験生サイトからダウンロードした入学検定料払込証明書用紙の貼付欄に貼ってください。

この振替払込請求書兼受領証で入学検定料納入の確認をしますので、必ず郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもののコピーを忘れずに貼ってください。(郵便局窓口での振替受付時間は平日の 9 時から 16 時です。また、ゆうちょ銀行窓口での振替受付時間は各店舗によって異なりますのでご注意ください。)

(注)納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。

5 出願手続

(1) 出願書類

書 類	注 意 事 項
入学願書、受験票、写真票、座席票	受験生サイトよりダウンロードして作成。
履歴書	受験生サイトよりダウンロードして作成。
志願理由書 (国際社会コース、社会科学コースのみ)	受験生サイトよりダウンロードして作成。日本語で記述してください。
学修計画書(国際社会コースのみ)	受験生サイトよりダウンロードして作成。日本語で記述してください。
住民票	市町村役場等が発行し、国籍、在留資格、期間が記載されたもの。 (住民登録をしていない者については、提出の必要はありません。)
最終出身学校(日本の高等学校に相当する学校)の卒業証明書 又は卒業見込証明書	コピーは不可 (なお、日本において準備教育課程を修了した者及び修了見込みの者は、当該修了又は修了見込み証明書を提出してください。)
最終出身学校(日本の高等学校に相当する学校)の成績証明書	

(次ページに続く)

出願資格(2)の②～⑥ に該当する場合	・国際バカロレア資格を有する者は資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及び成績評価証明書 ・アビトゥア資格を有する者は、一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し(成績の記載されたもの) ・フランス共和国のバカロレア資格を有する者は、資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し及びバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes) ・GCEAレベル資格者は、GCEAレベル資格試験の成績評価証明書 ・⑥に該当する者は、最終学校(日本の高等学校に対応する学校)の修了証明書、成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から認定を受けていることが確認できる書類
「2023 年度日本留学試験」の成績 確認書(写)	学部・学科等により必要な受験科目等が異なります。 2023 年度に複数回(6 月・11 月)受験した者は、1 回分の成績を選択して提出してください。
外国語検定試験の成績書類 (人文科学コース、国際社会コースのみ) TOEFL「公式スコアレポート」 (Official Score Report) 又は IELTS™「成績証明書」 (Test Report Form)	2022 年 4 月以降に受験した TOEFL の「公式スコアレポート」(Official Score Report)が、出願期間最終日までに ETS(Educational Testing Service)から直接高知大学入試課に届くように事前に手続きをしてください。 (<u>手続から本学に届くまで 2 か月以上掛かる場合があるので、早めに手続を進めてください。</u>) 高知大学入試課(Kochi University-Admission Division)の登録コード(DI Code)は 2598 です。学部別のコードはありません。 なお、出願期間最終日までに、「公式スコアレポート」(Official Score Report)が ETS から直接高知大学に届かない場合は、出願書類不備のため、受付することが出来ません。 2022 年 4 月以降に受験した IELTS™の「成績証明書」(Test Report Form)が、出願期間最終日までに実施機関から直接高知大学入試課に届くように事前に手続きをしてください。但し、Academic Module に限ります。 なお、出願期間最終日までに、「成績証明書」(Test Report Form)が高知大学に届かない場合は、出願書類不備のため、受付することが出来ません。
入学検定料払込証明書	17,000 円 受験生サイトよりダウンロードした入学検定料払込証明書用紙の貼付欄に「振替払込請求書兼受領証」のコピー(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもののコピー)を貼ってください。
住所票	受験生サイトよりダウンロードして作成。
受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、344 円分の切手を貼付した長形 3 号(23.5cm×12cm)の封筒。

(2) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類に記入する名前は、提出する各証明書の名前と同様の表現(漢字又はローマ字)としてください。
- ② 出願書類のうち、日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。
- ③ 出願書類のうち、一つでも不備のある場合には、受け付けません。
- ④ 出願書類受付後の書類の返還及び記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 入学許可後においても、提出書類の記載と相違する事実を確認した場合は、入学を取り消します。

(3) 出願方法

上記の出願書類を一括し、受験生サイトよりダウンロードした「提出書類郵送あて名書き用紙「私費外国人留学生 入学願書在中」」に必要事項を記入のうえ、角形 2 号(33.2cm×24cm)の封筒に貼り付け、出願期間内に届くよう、必ず郵便局の窓口で特定記録・速達郵便で発送してください。

6 受験票の送付

受験票は、受付終了後 2024 年 1 月 22 日(月)に発送します。

なお、2024 年 1 月 25 日(木)を経過しても「受験票」が到着しない場合は、学務部入試課に照会してください。〔TEL 088-844-8153〕

7 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

2023 年 12 月 22 日(金)まで

※ 上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「(3)の①又は②」の連絡先で、修学上の支援については「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書(大学入学共通テストの受験上の配慮決定通知書の写し、身体障害者手帳の写し、医師の診断書(発行後 3 か月以内のもの))」の提出について、お知らせします。

※ 大学入学共通テストの受験上の配慮決定通知を受けている者については、診断書(大学入試センターに提出したもの)はコピーでかまいません。その他の者については、状況に応じて原本を提出していただくことがあります。ご希望があれば、本学でコピーのうえ返却します。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出

「(1) 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて「(3)の①又は②」の連絡先まで提出してください。

※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>)より、ダウンロードしてください。
(重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。)

④ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤ 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥ その他

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照)以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「(3)の①又は②」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号
TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

② 医学部

高知大学医学部・病院事務部学生課入試室
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

③ インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター インクルージョン支援推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号

TEL/FAX 088-888-8037

E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: http://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構、駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用机の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例(全ての支援を確約するものではありません)

(これまでに行った支援の例)

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援(ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可)
- ・教室環境(換気、教室変更)
- ・移動支援(別移動手段)
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

(想定される支援の例)

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障

- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

8 選抜方法

入学者の選抜は、2023 年度日本留学試験、2022 年 4 月以降に受験した TOEFL 試験又は IELTSTM試験（人文科学コース、国際社会コースのみ）、本学が実施する個別試験等及び出願書類を総合して判定します。

(1) 人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

日本留学試験	理系・文系の別、科目	文系：日本語、総合科目
	出題言語の指定	日本語
TOEFL 又は IELTS TM		課す
本学が実施する個別試験等	日本語	日本語試験は、筆記試験形式で行い、日本語の理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	面接は、日本語による個人面接を行い、動機、意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。 TOEFL 又は IELTS TM は面接の資料とします。

国際社会コース

日本留学試験	理系・文系の別、科目	文系：日本語、総合科目
	出題言語の指定	日本語
TOEFL 又は IELTS TM		課す TOEFL 又は IELTS TM 、志願理由書及び学修計画書は選考の資料とします。
本学が実施する個別試験等		課さない

社会科学コース

日本留学試験	理系・文系の別、科目	文系：日本語、総合科目、数学（コース 1）
	出題言語の指定	日本語
TOEFL 又は IELTS TM		課さない
本学が実施する個別試験等	面接	面接は、日本語により行い、志望動機、学習意欲、入学後の適性について総合的に評価します。志願理由書は面接の資料とします。

(2) 理工学部

数学物理学科(数学受験)

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2 科目選択・科目指定なし）、数学（コース 2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）を課します。（注）「数B」の出題範囲は、「数列」、「ベクトル」とする。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。

(注)「数学受験」「理科受験」は、入学試験における選抜方式の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。

数学物理学科(理科受験)

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2科目選択・科目指定なし）、数学（コース2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）から1科目（選択）を課します。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。

(注)「数学受験」「理科受験」は、入学試験における選抜方式の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。

情報科学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2科目選択・科目指定なし）、数学（コース2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）、物理（物理基礎・物理）、情報（情報の科学）から1科目（選択）を課します。 (注)「数B」の出題範囲は、「数列」、「ベクトル」とする。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。

生物科学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2科目選択・科目指定なし）、数学（コース2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の生物（生物基礎・生物）、地学（地学基礎・地学）から1科目（選択）を課します。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。

化学生命理工学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2科目選択・科目指定なし）、数学（コース2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から1科目（選択）を課します。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。成績証明書、履歴書は面接の資料とします。

地球環境防災学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2 科目選択・科目指定なし）、数学（コース 2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
本学が実施する個別試験等	専門教科試験	専門教科試験は、日本語による高等学校卒業程度の物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、地学（地学基礎・地学）から 1 科目（選択）を課します。
	面接	面接は、日本語による個人面接の方法で行い、志望動機と意欲、表現力などを複数の採点者が総合的に評価します。成績証明書、履歴書は面接の資料とします。

(3) 医学部

医学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2 科目選択・科目指定なし）、数学（コース 2）
	出題言語の指定	日本語
TOEFL 又は IELTS™		課さない
本学が実施する個別試験等	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（必須） （注）「数B」の出題範囲は、「数列」、「ベクトル」とする。
	理 科	物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から 2 科目選択
	外国語	英語（英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ）
	面接	面接は、30 分程度の個人面接を行い、志望動機、意欲、適性等について総合的に評価します。 ただし、面接評価が悪い場合は不合格とすることがあります。 出願書類は面接の資料とします。

(4) 農林海洋科学部

農林資源科学科・海洋資源科学科

日本留学試験	理系・文系の別、科目	理系：日本語、理科（2 科目選択・科目指定なし）、数学（コース 2）
	出題言語の指定	日本語・英語どちらでも可
TOEFL 又は IELTS™		課さない
本学が実施する個別試験等	面接	面接は、日本語による個人面接をコース別に行い、志望動機、意欲、適性を総合的に評価します。 履歴書・成績証明書を面接の資料とします。

9 配点

学部学科等			日本留学試験						TOEFL IELTS™	本学が実施する個別試験等						合計
			日本語	日本語 (記述)	理科	総合 科目	数学	小計		日本語	数学	理科	英語	専門	面接	
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	400	(注 2) 60	—	(注 5) 100	—	560	(注 7) ●	200	—	—	—	—	200	960
		国際社会コース	400	50	—	200	—	650	(注 8) ◎	—	—	—	—	—	—	650
		社会科学コース	(注 1) 200	(注 3) 100	—	(注 5) 100	(注 5) 100	500	—	—	—	—	—	—	500	1,000
理工学部	数学物理学科		400	—	200	—	200	(注 6) 100	—	—	—	—	—	100	100	300
	情報科学科															
	生物科学科															
	化学生命理工学科															
	地球環境防災学科															
医学部	医学科		(注 9) ○	(注 9) ○	(注 9) ○	—	(注 9) ○	(注 9) ○	—	—	300	300	300	—	(注 9) ○	900
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド科学コース	400	(注 4) 200	200	—	200	1,000							400	1,400
		農芸化学コース	400	(注 4) 200	200	—	200	1,000							400	1,400
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース	400	(注 4) 200	200	—	200	1,000							400	1,400
		海底資源環境学コース	400	(注 4) 200	200	—	200	1,000							400	1,400
		海洋生命科学コース	400	(注 4) 200	200	—	200	1,000							400	1,400

(注 1) 400 点を 200 点に換算。

(注 2) 50 点を 60 点に換算。

(注 3) 50 点を 100 点に換算。

(注 4) 50 点を 200 点に換算。

(注 5) 200 点を 100 点に換算。

(注 6) 日本留学試験の合計 800 点を 100 点に換算。

(注 7) ●は面接の資料とします。

(注 8) ◎は選考の資料とします。

(注 9) ○は総合判定に加味します。

10 試験実施期日及び試験場

(1) 人文社会科学部、理工学部、農林海洋科学部

試験実施期日：2024年2月3日（土）

学部	学 科 等		集合時刻	個別試験等	試験場		
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	9:30	日本語（10:00～12:00） 面接（午後）	朝倉キャンパス （高知市曙町 2-5-1）		
		国際社会コース	個別試験等を課さない。 （試験場に来る必要はありません。）				
		社会科学コース	9:30	面接（10:00～）	朝倉キャンパス （高知市曙町 2-5-1）		
理工学部	数学物理学科		9：00	専門教科試験（9:30～11:30） 面接（午後）	朝倉キャンパス （高知市曙町 2-5-1）		
	情報科学科						
	生物科学科						
	化学生命理工学科						
	地球環境防災学科						
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド科学コース	志願者には別途、受験票送付の際に通知します。	面接（午後）	物部キャンパス （南国市物部乙 200）		
		農芸化学コース					
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース					
		海底資源環境学コース					
		海洋生命科学コース					

試験場の下見は、2月2日（金）13時からできます。（建物内に入ることはできません。）

(2) 医 学 部

学 科	試験実施期日	集合時刻	個別試験等	試験場
医 学 科	2024 年 2 月 25 日（日）	9:00	数学（9:30～11:30） 理科（13:00～15:00） 英語（16:00～18:00）	岡豊キャンパス なんこくしおこうちょう （南国市岡豊町 こはす 小蓮）
	2024 年 2 月 26 日（月）	8:40	面接（9:00～）	

試験場の下見は、2月24日（土）13時からできます。（建物内に入ることはできません。）

11 受験上の注意事項

(1) 試験場への集合等

- ① 受験者は掲示により集合場所を必ず確認し、各学部の指定の時刻までに入室してください。
- ② 試験室入室後は、教科書・参考書等は開かないでください。
- ③ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(2) 携行品

- ① 「本学受験票」、「日本留学試験の受験票」は必ず持参し、机の上に置いてください。
また、面接試験時には必ず面接試験者に提示してください。
- ② 受験者が机の上に置けるもの
黒鉛筆、シャープペンシル(黒)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)のみです。
- ③ ①、②以外の携行品は、指定の場所に置いてください。(コート等は着用のままでよい。)
- ④ 試験室での温度調整は、各自衣服等でしてください。
- ⑤ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、所持しないでください。

(3) 受験票

- ① 本学受験票を紛失した者は、学務部入試課に連絡して、指示を受けてください。〔TEL088-844-8153〕
- ② 試験当日に受験票を忘れた者は、受験票再交付場所(当日の掲示に注意)で所定の手続きを行い、受験してください。

(4) 遅刻者

試験開始後 30 分を超えたときは、受験することができません。

また、面接は定められた集合時刻までに入室していないと受験することができません。

(5) その他

- ① 各学部で、それぞれ課している個別試験等を全て受験しないと合格者となりません。
- ② 試験が終了するまでは退室できません。
- ③ 試験中、発病等で一時休養を希望するとき、又はトイレ等で席を立ちたいときは、手を挙げて、監督者の指示に従ってください。なお、これらの場合でも試験時間の延長は行いません。
- ④ 許可された物品以外のものを机に出している場合、若しくは身につけることのできないものを身につけている場合は不正行為として扱う場合があります。
- ⑤ 監督者の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格となります。
不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑥ 朝倉キャンパス(人文社会科学部、理工学部)では、試験期間中、自動車の構内乗り入れ及び駐車は禁止します。周辺に駐車場はありませんので、来学の際は公共交通機関をご利用願います。
岡豊キャンパス(医学部)については自動車の乗り入れは可能ですが、駐車料金が発生します。
物部キャンパス(農林海洋科学部)は自動車の乗り入れは可能ですが、係員の指示に従ってください。

12 合格者発表と選抜結果の通知

(1) 人文社会科学部、理工学部、農林海洋科学部

- ① 合格者の発表は、**2024 年 2 月 7 日(水)15 時(予定)**に、本学ホームページ「受験生サイト」に受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続書類を発表と同時に特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- ② ホームページで合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト : <https://nyusi.kochi-u.jp/>
掲載日時 : 2024 年 2 月 7 日(水)15 時(予定)
- ③ 電話等による問合せには一切応じません。

(2) 医学部

- ① 合格者の発表は、**2024 年 3 月 7 日(木)15 時(予定)**に、本学ホームページ「受験生サイト」に受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続書類を発表と同時に特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- ② ホームページで合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト : <https://nyusi.kochi-u.jp/>
掲載日時 : 2024 年 3 月 7 日(木)15 時(予定)
- ③ 電話等による問合せには一切応じません。

13 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

2024 年 2 月 8 日(木) から 2 月 28 日(水) 17 時まで(必着)

ただし、医学部は 2024 年 3 月 8 日(金)から 3 月 15 日(金)17 時まで(必着)

※ 郵送のみ(持参では受け付けません。)

(注 1) 入学手続期間後に到着した場合は、受理しません。郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するように特定記録・速達郵便で発送してください。

また、期間内に入学手続を完了しなかった場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

(注 2) 「入学許可書」は、入学手続を行わないと発行できませんので、在留資格の変更・更新に必要な場合は次の連絡先に連絡してください。

連絡先: 高知大学学務部入試課 TEL 088-844-8153

(2) 入学手続書類の送付先

高知大学学務部入試課

(〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号)

(3) 入学手続書類

入学手続書類は、合格通知書とともに送付しますが、それ以外に用意するものは、次のとおりです。

- ① 卒業証明書又はこれに代わるもの……………1 通(出願時に提出している者は不要。見込者は卒業後速やかに提出。3/15(金)必着)
- ② 写 真……………2 枚(4cm×3cm・私服で撮影したカラー写真)

(4) 入学手続時等に要する経費

- ① 入学料 282,000 円
- ② 授業料 第 1 学期分 267,900 円(年額 535,800 円)

○ 注意事項

- 1) 入学料は入学手続時に納付してください。
- 2) 授業料は、第 1 学期分は 5 月中、第 2 学期分は 11 月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
- 3) 入学料の減免(留学生を除く)又は徴収猶予を希望する者は、合格者に送付する入学者の手引に従って手続を行ってください。

授業料についても減免制度及び徴収猶予制度があります。

当該制度の申請者は、本学が指示するまでは入学料・授業料を納付しないでください。

日本学生支援機構給付奨学金に申請予定の者又は採用者で入学料納付後に入学料及び授業料減免の手続を行う者は、本学が指示する手続期間内に申請を行ってください。

(問合せ先＝高知大学学務部学生支援課経済支援係(電話:088-844-8146))

- 4) 納入した入学料は、返還しません。ただし、次に該当する場合は当該入学料相当額もしくは免除相当額を返還します。
 - ・ 入学料を納付した者が、入学手続を完了しなかった場合
 - ・ 入学料を納付した者が、納付後申請した減免制度により全額もしくは一部免除となった場合
- 5) 入学料減免及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。
- 6) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(5) 注意事項

- ① 合格者は、本学の他の個別試験等を受験しても、その合格者とはなりません。
- ② 手続期間内に入学手続を完了しない者は、辞退者として扱います。

14 不合格者の国公立大学への出願

不合格となった場合に備え、大学入学共通テストを受験している者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。

(注) 一般選抜の出願期間は、2024 年 1 月 22 日(月)から 1 月 31 日(水)です。

本学に出願する場合は、2023 年 10 月末に公表予定の「2024 年度高知大学学生募集要項(一般選抜)」で確認してください。

15 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

また、合格者に限り、入学後の修学に係る学生サービス及び卒業後のコミュニティ醸成のために、合格者本人の同意を得たうえで、提出のあった「住所票」を各学部同窓会・後援会に提供することをご了承願います。

試験場案内

試験場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

①ＪＲで来られる方へ

J R 朝倉駅	徒歩(約5分).....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
J R 高知駅	路面電車(とさでん交通、以下、省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分)、 「はりまや橋」電停で下車、以下の①・②・③へ乗り換え	

②航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車(約 30 分)、「はりまや橋」で下車、以下の①・②・③へ乗り換え	
--------	--	--

【乗り換え】高知市内中心部より

①路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約 30 分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
②とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「天王ニュータウン」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車 (約 25 分)、「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	
③県交北部交通バス 「堺町」バス停	「長沢」・「土居」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車(約 25 分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

試験場：高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)

[交通アクセス]

①ＪＲで来られる方へ

J R 高知駅	空港連絡バス(「高知駅前観光バス」または「とさでん交通」)に乗車(約 30 分)し、 「高知龍馬空港」で下車後、徒歩約 15 分.....▶	高知大学 物部キャンパス
J R 後免駅	タクシー(約 30 分).....▶	
J R 後免駅	タクシー(約 20 分).....▶	

②航空機で来られる方へ

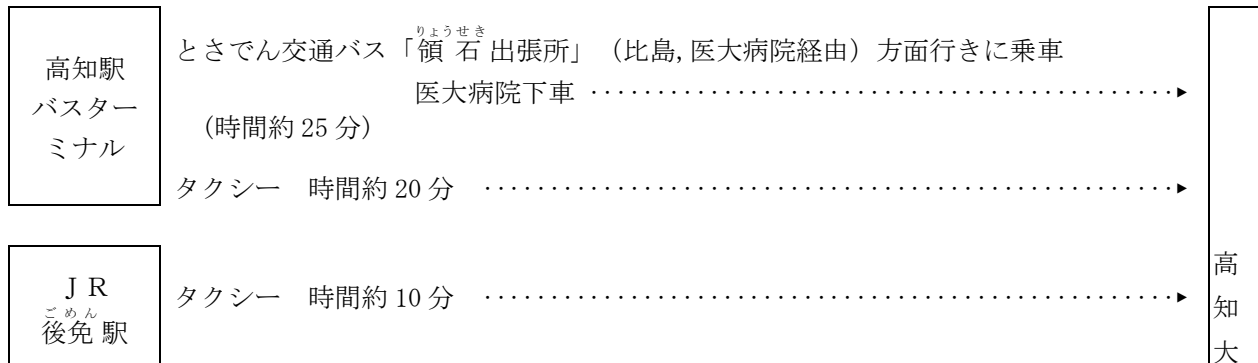
高知龍馬空港	徒歩約 15 分、又はタクシー.....▶	高知大学 物部キャンパス
--------	-----------------------	-----------------

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

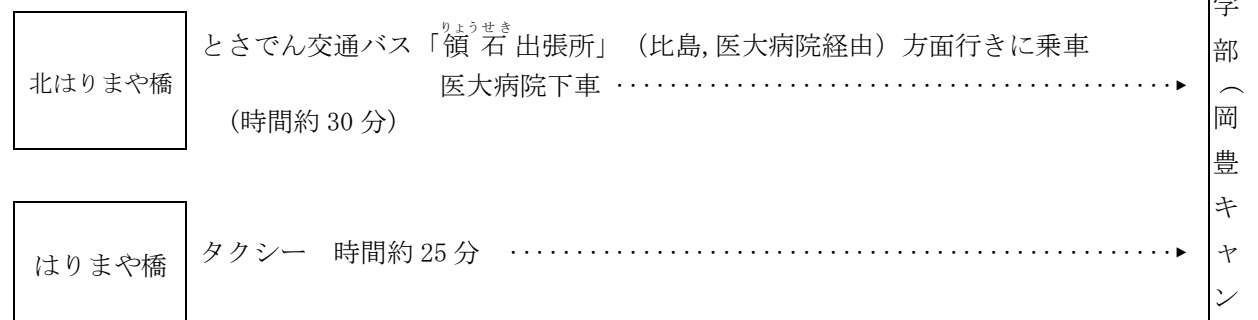
試験場：高知大学医学部岡豊キャンパス なんこくしおこうちょうこはす
(南国市 岡 豊町 小蓮)

[交通アクセス]

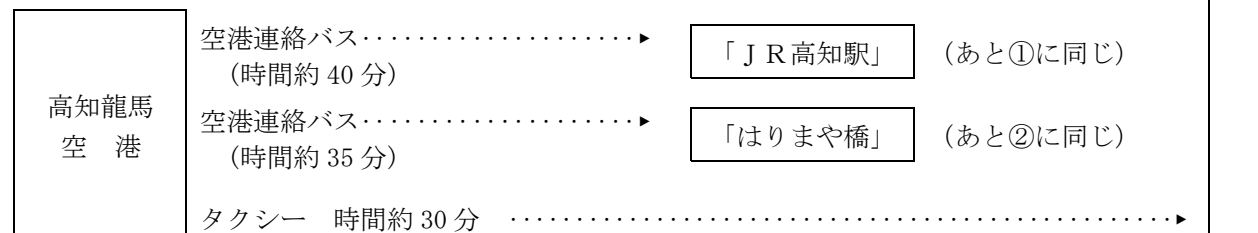
① JRで来られる方へ



② 高知市内よりバスで来られる方へ



③ 航空機で来られる方へ



※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

各キャンパス 案内図



(拡大図)

入 試 情 報

入試情報 高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/>)にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<https://manabi.benesse.ne.jp/>)

◎ 入学試験に関する問合せ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の 8 時 30 分～17 時までの間に次のところに問合せてください。

高知大学学務部入試課 TEL 0 8 8 - 8 4 4 - 8 1 5 3
FAX 0 8 8 - 8 4 4 - 8 1 4 7

医学部担当 TEL 0 8 8 - 8 8 0 - 2 2 9 5
FAX 0 8 8 - 8 8 0 - 2 2 9 6

高知大学学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号